

# 「なそのたまご」の正体を知ろう！①

「謎の卵」みつけた！ (6月15日～23日)

ある日、園庭に卵が落ちていました。

本当かな…？

これ鶏の卵なんじゃない？

何の卵だろう？虫？

青っぽい色の卵なんて見たことがない

虫にしては大きくない？

じゃあ新種の卵なんじゃない？

そうかも！  
新種の卵！

えー、この大きさは、スズメに違いありません！

新種じゃないと思うよ。  
だって新種は幼稚園にはないし

お店で売っている卵は鶏の卵だけど、  
模様と色が違うから鶏じゃないよ

A君の推測

この**大きさ**はスズメの卵に違いありません  
よく知っている**鶏の卵**と比べると**小さい**から

スズメをおびき寄せて卵を産ませれば、スズメの卵だってわかるよ

おとり作戦開始！

スズメの大型絵本を見ながら、段ボールでおとりを作りました。

「スズメは木の上にいる」ので、スズメが来やすいような木の枝の上におとりを設置しました。

次の日の朝、

朝から数回スズメが来ていないか確かめましたが、来た形跡すら残っておらず、おとり作戦は失敗に終わりました。



先生と一緒にタコ糸で縛りつけたスズメの形のおとり



がっかりするA君に、偶然通りかかった男児たちから次の作戦に繋がるヒントが！

巣箱だな。鳥は段ボールみたいな箱に入っているから、それがあれば来る

## 作戦その2「巣を作ろう！」

どんな草がいいかなあ？  
草を丸くしなくちゃ。

B君の「巣箱だな。鳥は段ボールみたいな箱に入っているから、それがあれば来る」という考えを受けたA君は、鳥の巣を作る作戦を思いつきました。どんな草がよいかその場にある草を選び、「草を丸くしなくちゃ」と先生の援助を受けて丸い輪を作りました。



草を輪にした  
作りかけの巣

## 作戦その3「鳥に卵を産ませる大作成」

「謎の卵」を発見したことやそれぞれの予想、おとり作戦のことをまとめた掲示物を見た子どもたちは、謎の卵の正体について次第に興味を持つようになりました。そこで、学級全体で集まったときに、その掲示物を使いながら、A君が自分でクラスみんなに伝えるようにしました。

巣箱なら  
見たことがあるよ

草じゃなくて箱みたいな巣  
にすれば、卵を産む

B君の「草じゃなくて箱みたいな巣にすれば、卵を産む」言葉をきっかけに、A君自身も巣から巣箱のイメージに変わっていきました。

どうしたら謎の卵の正体が  
わかるんだろうね

そうか、  
巣箱ってことだね



A君が草で作ろうとしている「鳥の巣」は、学級の友達になかなか伝わりませんでした。B君の「巣箱」についてはみんなが知っていたようで、「卵が産めるような巣箱をつくり、謎の卵の正体を知りたい」という思いが学級全体に広まっていきました。「鳥に卵を産ませる」一大プロジェクトの始まりです。